



【先週 4月14日～4月20日の外食の出来事】

■吉野家、6年ぶり赤字 原材料費とアルバイト代が高騰

吉野家ホールディングスの2019年2月期決算は純損益が60億円の赤字となった。通期の赤字は6年ぶり。牛肉やコメの原材料費と人手不足によるアルバイトの人件費の高騰が響いた。店舗撤退の損失も計上した。

■サイゼリヤ、上半期(2018年9月～2019年2月)の連結業績 増収減益

サイゼリヤの2019年8月期 第2四半期の連結業績は売上高755億7700万円(対前年同期比1.0%増)、経常利益37億9900万円(同2.3%減)、四半期純利益18億2600万円(同19.7%減)と増収も減益であった。

■幸楽苑、消費増税先取り価格に変更。税込ワンコイン定食も投入。

幸楽苑が、4月9日から、中華そばを421円から440円に値上げし、みそラーメンと塩ラーメンを453円から440円に値下げした。丸い数字に変えた。また、10月から消費税が10%に増税された後も価格は変更しない。

■マクドナルド、スマホオーダーで席にデリバリー。

日本マクドナルド株式会社が、10日より、静岡県内の75店舗にて「未来型店舗体験」と位置づける、スマホでオーダーし、テーブルまで届けるシステムなどを導入した。1月の沖縄県の店舗でパイロット導入して好評だったという。

■コメダホールディングス、2019年2月期 通期の連結業績 増収増益

コメダの2019年2月期 通期の連結業績は売上収益303億3500万円(対前年同期比16.7%増)、税引前利益74億6100万円(同5.3%増)、当期利益51億1700万円(同4.3%増)と増収増益を確保した。

■ドトール・日レスHD、2019年2月期 通期の連結業績 減収減益

ドトール・日レスの2019年2月期 通期の連結業績は売上高1292億1600万円(対前年同期比1.5%減)、経常利益102億7100万円(同0.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益59億1500万円(同11.4%減)であった。

■黒毛和牛うたい外国産提供 「ロイヤルダイニング」に 防止命令

黒毛和牛とうたいながら外国産牛を提供したのは景品表示法違反に当たるとして、東京都の飲食業「ロイヤルダイニング」に再発防止を求める措置命令を出した。同社は首都圏を中心に居酒屋や和洋食など約40店舗を運営。

■ブロンコビリー、一転9%減益に 19年12月期最終

ブロンコビリーは2019年12月期の単独業績見通しを下方修正。税引き利益は前期比9%減の16億円と、4%増の18億円だった従来予想から一転減益。来店客数が計画に届かず、クーポンの配布などで販売管理費もかさむ。

■DDホールディングス、2019年2月期 通期の連結業績 増収増益

DDホールディングスの2019年2月期 通期の連結業績は売上高509億7300万円(対前年同期比13.1%増)、経常利益22億3200万円(同0.4%増)、当期純利益10億8500万円(同7.4%増)であった。